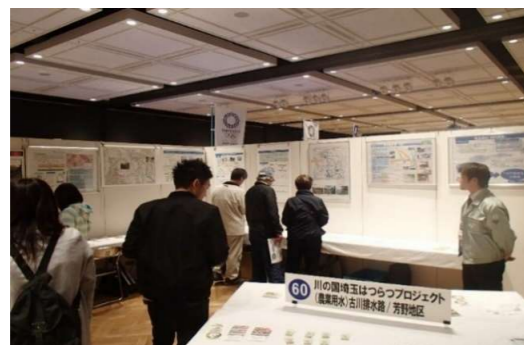


PR活動（かわごえ産業フェスタ：平成29年11月11日、12日、平成30年11月10日、11日
令和元年11月23日、24日実施）



PR活動（県民ふれあいフェスタ：平成29年11月23日実施）



校外学習協力（おさかな観察会：平成30年6月22日 荒川右岸用排水土地改良区協力）



出典：川越市河川課

〒355-0024

埼玉県東松山市六軒町5番地1

埼玉県 農林部 東松山農林振興センター 農村整備部

TEL：0493-23-8583

〒350-8601

埼玉県川越市元町1丁目3番地1

川越市 産業観光部 農政課

TEL：049-224-5939（直通）

川越市 建設部 河川課

TEL：049-224-6041（直通）

川の国埼玉はっらっプロジェクト「古川排水路地区」

川越市

～ 健康を彩る水辺と田園の回廊 ～



事業概要

事業のポイント

- ・協働の仕組みを継承
- ・市町村の地域振興と連携させ、効果を拡大
- ・県内各地で利活用を推進し、様々な川の魅力を
実感できる
- ・水辺の質を向上させ、地域の共有資産に成長

市町村
地域振興
(地方創生や観光振興
計画を推進)

住民等
利活用・維持管理
(地域の資産として守り、使う)

連携
協働

県
水辺空間の整備
(主に遊歩道や親水拠点)

- ・地域振興イベントの実施
- ・ウォーキングや散策などで利用
- ・川の国応援団として清掃活動

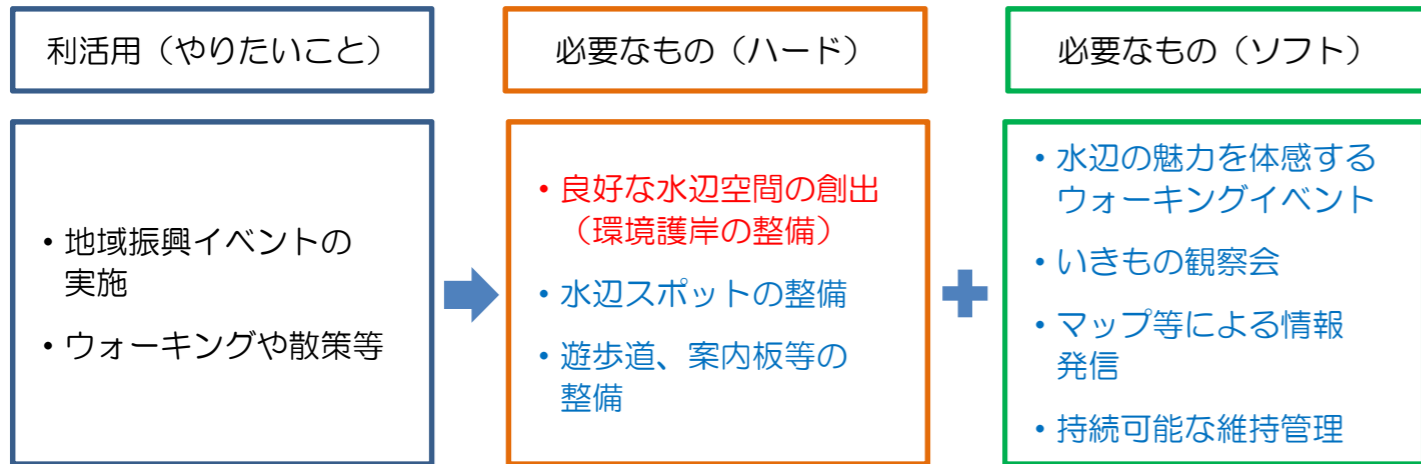
- ・県へ事業提案
- ・協議会を運営して提案を具体化
- ・振興施設整備（駐車場、トイレ、公園など）
- ・イベント企画などで利活用促進
- ・住民等と維持管理

- ・県のノウハウを生かして
地域振興に資する水辺づくり
- ・利活用や維持管理を応援

地域住民、市民団体と行政による取組内容の検討

「川のまるごと再生プロジェクト」により良好な水辺空間が再生された古川排水路について、さらに上流区間の環境護岸や遊歩道を整備することにより、緑と田園のネットワークを確立し、安らぎとにぎわいの空間を創出するとともに、持続的・自立的な維持管理による継続的な活用及び保全を図るため、川の国埼玉はつらつプロジェクト（農業用水）古川排水路推進協議会を設置しました。

開催日時	意見交換の内容	協議会構成メンバー	
第1回	平成29年度 6/29	提案書、整備計画について	石田本郷新田自治会
第2回	2/8	計画策定、工事内容について	菅間中・下自治会
第3回	平成30年度 5/17	実施計画、アンケート調査、工事内容について	石田本郷自治会
第4回	11/14	古川排水路の維持管理、遊歩道及び回遊路設定、水辺スポット整備の進捗状況、県営事業について	鹿飼自治会
第5回	令和元年度 7/25	実施計画、アンケート調査結果、工事内容について	鴨田第1自治会
第6回	2/19	令和元年度の事業進捗、令和2年度の事業予定について	鴨田第3自治会
第7回	9/7	令和2年度の事業実施計画、工事内容、成果目標について	荒川右岸用排水土地改良区
第8回	令和2年度 3/16	令和2年度までの事業進捗、成果指標について、事業期間の延長について	川越東部工業会協同組合
			かわごえ環境ネット
			埼玉南部漁業協同組合
			川越市
			埼玉県



（赤字：県、青字：市が実施するもの）

目標・成果指標について

■健康を彩る水辺づくり

- 古川排水路沿いに遊歩道を兼ねたジョギングコース等の整備を行い、「農村のさんぽ道」のサイクルネットワークと併せて市街地（まち）と水辺を相互につなぎ、地域や来訪者が健康を通じて交流できる水辺環境を創出します。

■憩いの水辺を彩る人づくり

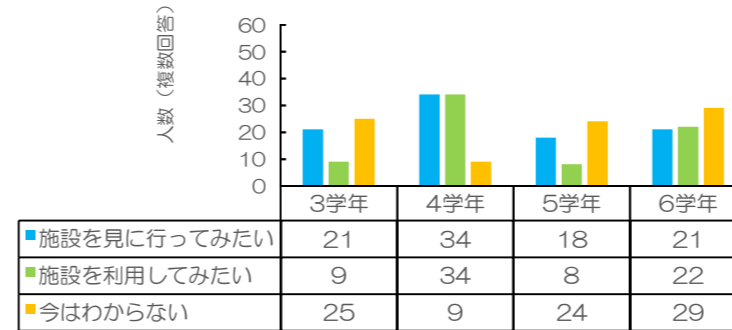
- 水辺の美化活動を推進するため、川の国応援団に登録し、地域住民による憩いの水辺を創出します。

成果指標	整備前（H28）	整備後（目標）	整備後（R3）	今後の対応
ジョギング利用者数	200人	1,000人	100人	コロナ感染症拡大の状況を踏まえ調査実施予定
サイクリング利用者数	2,500人	4,500人	1,500人	
川の国応援団申込者数（古川排水路）	-	1,000人	5人	継続的な申込者数の増加を図る

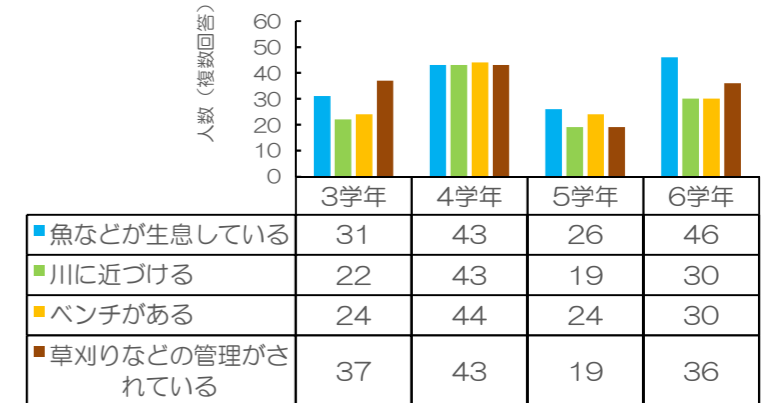
■アンケート調査

水辺スポットの整備完了後、地域の小学生を対象に「河川環境施設の利用に関するアンケート」を実施しました。集計結果から河川環境施設が整備された後の利用について「見に行ってみよう」と「利用してみよう」を合わせた人数が全ての学年で5割以上となっており、施設への関心の高さが分かります。

河川環境施設が整備された後の利用について



河川環境施設を利用するイメージについて



出典：川越市河川課

■アンケート調査を踏まえた今後の利活用のイメージ（おさかな観察会）



出典：川越市河川課

■維持管理（草刈）



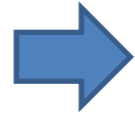
■成果指標のフォローアップ

ジョギング利用者数、サイクリング利用者数については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で地域住民の生活スタイル等が大きく変化しており、整備前（H28）と整備後（R3）の比較検討が困難なため、令和4年度以降に新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえて交通量調査を実施し、適正な評価を図ってまいります。

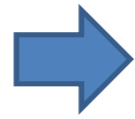
川の国応援団申込者数については、関係機関と連携して持続的、自立的な維持管理のため継続的に申込者数の増加を図ってまいります。

整備前後の比較

古川排水路（菅間堰付近）



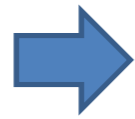
古川排水路（芳野中学校付近）



水辺スポット（芳野中学校付近）



遊歩道（川越第二産業団地付近）



川とまちの状況

古川排水路の概要

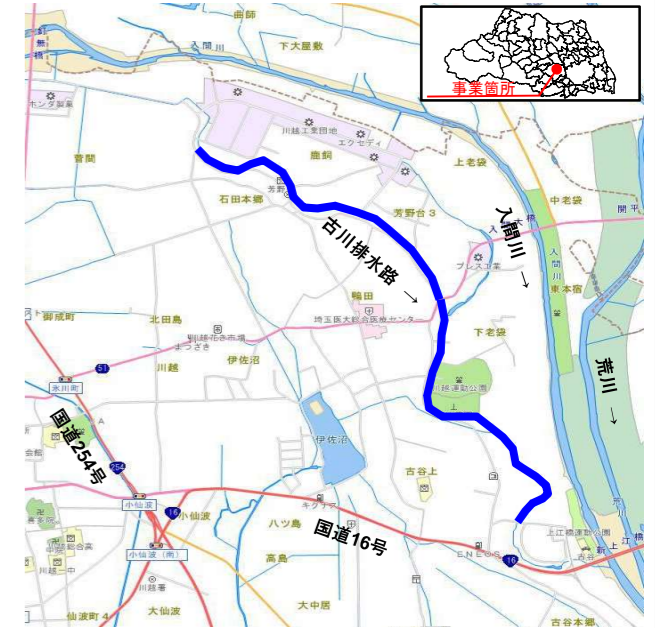
■川の特徴

古川排水路は、農業用の排水路としての重要な機能を有しております。また、入間川合流部に農地防災機能を有する排水機場を備えています。なお、沿川には川越運動公園、川越工業団地、釣りスポットが位置し、市内外からの来訪者に親しまれています。

【河川延長：5.2km】

■過去の事業

- ・川のまるごと再生プロジェクト
環境護岸の整備：延長2.3km
(笹原排水路を含む)



まちの状況



① 入間川堤防桜づつみ

② 菅間頭首工

③ 菅間緑地

④ 蔵づくりの町並み

⑤ 農業ふれあいセンター

⑥ 伊佐沼

⑦ 万作踊り(文化財)

⑧ 笹原門樋(文化財)



■地域資源

- ・人口35万人を有する本市は、江戸時代に城下町として栄えた歴史を持つとともに、都心に近い立地でありながら、豊かな自然環境にも恵まれた都市です。
- ・第四次川越市総合計画（H28.3）において、将来都市像を「人がつながり、魅力があふれ、だれもが住み続けたいまち 川越」と定めています。
- ・本市の北東部に位置する芳野地区は、ほぼ全域の農業基盤が整備され、入間川に流れる古川排水路等とともに豊かな農業地域となっています。



【整備内容】

開始年度：平成29年度
 事業延長：2.7km
 県整備：古川排水路 2.7km
 市整備：遊歩道 1.6km
 水辺スポット 1箇所